

10月号

2023 October
Vol. 157

きらめき

kirameki
Yamaguchi

山口県看護協会報

(一財)防府消化器病センター 防府胃腸病院

所在地:〒747-0801 山口県防府市駅南町14-33

当センターは、消化器疾患の診断と治療、早期発見・健康増進のための健診事業、そして臨床・疫学研究や公開講座などの公益事業を三つの柱として設立された、消化器専門の一般財団法人です。私たち看護部は「医療の安全を最優先し、人を尊び、権利を守ることができる質の高い看護」を理念として、誠実で思いやりのある看護の実践を目指しています。



令和5年度 公益社団法人山口県看護協会通常総会を終えて

専務理事 酒井 恵子

令和5年度通常総会を山口県看護研修会館において6月17日に開催いたしました。4年ぶりの通常規模の開催としたところ、約160名の代議員の参集をいただき、会場は活気にあふれました。

式典では、会長のあいさつ、優良看護職員の山口県知事表彰、山口県看護協会長表彰、新規名誉会員や叙勲等の受章者の紹介に続き、村岡県知事をはじめ、来賓の皆様に祝辞をいただきました。いずれの祝辞でも、コロナ禍における看護職の活躍に対し、感謝の意を表されました。

また、会長はあいさつの中で、「山口県看護協会では、緊急事態下に顕在化した課題を平時から取り組むため、危機的状況下でのマネジメントや感染管理・人員確保等による、安心安全な看護提供体制の整備を進めながら、行政や医療機関をはじめとした関係機関と連携し、適宜適切に社会的役割を果たしていきたい。具体的には改正医療法に基づき法制化された「災害・感染症医療業務従事者」の養成、認定看護師や専門看護師等の活躍の場を広げ、地域全体の看護活動の体制強化を行う「認定看護師等の活躍推進事業」、全世代に対応できる看護力の強化に向け、協会支部単位ごとの地域連携機能の強化に一層取り組む。」と述べました。

議事においては、議決事項として、「令和4年度決算報告(案)及び監査報告」、「山口県看護協会定款の一部改正(案)」がいずれも承認され、「令和5年度改選役員及び推薦委員の選出」については、西生敏代会長をはじめ、候補者全員が選出されました。また「令和6年度日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員の選出」についても承認されました。

次に報告事項として、令和4年度事業報告、令和5年度事業計画、令和5年度収支予算書が報告されました。

最後に、看護の日キャラクターの「かんごちゃん」が登場し、新役員紹介、旧役員への謝辞で、役員の方々をエスコートしてくれました。

今年度の通常総会は、看護職のパワーみなぎる総会となりました。

今後も、会員はもとより県民にとっても人々の健康な生活の実現に寄与する職能団体として、事業を推進してまいりますので、引き続きのご支援、ご協力をお願ひいたします。



かんごちゃん 活動記

かんごちゃんは、「看護の日・看護週間」事業のキャラクターです。

将来の看護職になる若年層に看護の魅力を伝える
メッセンジャーとして活動します。



「総会や
看護の日のイベント、
防災訓練に参加したよ。
これからも
いろんなこと
したいなあ。」



山口県看護協会かんごちゃん

山口県看護協会会員数

2023年8月10日現在

保健師：456名 / 助産師：321名 / 看護師：8,812名 / 准看護師：385名

合 計：9,974名 (入会率：39.4%)

受章(賞)おめでとうございます

Congratulations

叙勲受章者(R4 秋) 村上 道子

叙勲受章者(R4 秋) 軍神 弘美

叙勲受章者(R5 春) 吉村 喜代子

優良看護職員厚生労働大臣表彰 菅光 美根子

優良看護職員厚生労働大臣表彰 上田 三千代

優良看護職員厚生労働大臣表彰 藤谷 圭子

第51回 医療功労賞

日本看護協会会長表彰

日本看護協会会長表彰

山口県看護協会会长表彰

山口県看護協会会长表彰

山口県看護協会会长表彰

山口県看護協会会长表彰

山口県看護協会名誉会員

山口県看護協会名誉会員

山口県看護協会名誉会員

山口県看護協会名誉会員



令和5年度 山口県総合防災訓練に参加して

災害支援委員会 委員長 木村 直也

4年ぶりに訓練に参加してきました!

新型コロナの流行前には毎年参加し、県民の皆様に災害支援ナースの取り組みをPRしてきましたが、感染拡大に伴い訓練そのものが中止されたり、WEB訓練への移行となったりと直接PRできる機会がなくもどかしい思いをしていました。しかし、今年から企業展示ブースが再開され、我らが山口県看護協会の災害支援委員は、看護の日キャラクター「かんごちゃん」と共に全員で県民の皆様に活動を直接PRして参りました!

当日は、体験型ブースを開き、緊急処置の一環としての心臓マッサージ体験、感染対策としての手洗い体験、展示パネルを使用して過去の災害支援ナースの活動について皆様にお話させて頂きました。メイン会場が屋外で、看護協会の展示ブースは屋内の2階という事もあり人目が集まらないのではないかと不安もありましたが、100人以上の方に来場頂きました。

心臓マッサージ体験では「こんなに強く押すの?」と驚かれる方や、「ワシが倒れたらお前がやるんで」と自分たちでの緊急処置についても考える機会となつたと思います。また、手洗い体験では「ちゃんと洗ったつもりだったのに」と、感染拡大から3年行ってきた手指衛生の方法を見直される方も多く見られ、県民の方に看護を伝えることのできる体験コーナーだったと思います。

災害支援ナースは制度の開始から既に10年以上が経過しました。来年度から、災害のみならず感染症にも対応できる災害支援ナースとして大きく変わろうと思っています。活躍の場が広がる一方で「まだちょっと知名度が低いかな?」と思わざるを得ないこともあります。自分たちの活動の意義や、有事の際に皆様が災害支援ナースを見て安心感を覚えられる様に、これから広報活動にも力を入れたいと思います。



令和5年度 役員紹介

令和5年度の役員を紹介します。

本協会の事業推進のため、会員の皆様のご協力をお願いします。

職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
会長	西生 敏代	保健師職能理事	安池 まさみ	地区理事(周南)	山本 美紀	地区理事(下関)	小山 亜弥
第一副会長	折込 沙世	助産師職能理事	塩道 敦子	地区理事(防府)	杉山 真弓	監事	原田 美佐
第二副会長	渡邊 洋子	看護師職能Ⅰ理事	池田 早苗	地区理事(山口)	口羽 理恵	監事	軍神 弘美
第三副会長	小西 恵	看護師職能Ⅱ理事	露繁 巧江	地区理事(宇部)	牟田 薫	監事	嶋谷 克美
専務理事	酒井 恵子	全区理事	鈴川 実紀	地区理事(小野田)	土井 直子		
常務理事(庶務)	藤谷 圭子	地区理事(岩国)	浜 佳恵	地区理事(長門)	花島 まり		
常務理事(会計)	小阪 マリ子	地区理事(柳井)	田山 千里	地区理事(萩)	田中 好江		

新役員あいさつ



会長
西生 敏代

今、社会からは、看護職の力量発揮が求められています。職能団体として人々の安心と安全、よりよく生きることを支援する看護職の役割を、会員の皆様と共に考え取り組んでいきたいと思っております。どうぞ、ご支援ご協力をよろしくお願ひいたします。



第二副会長
渡邊 洋子

この度、第二副会長に就任いたしました。医療・看護を取り巻く状況が大きく変化する中、看護による期待は高まっています。看護職の力が発揮できるよう微力ながら貢献できればと思います。
宜しくお願ひいたします。



専務理事
酒井 恵子

専務理事として2期目になります。看護職が専門職としての力を十分発揮し、より良い看護が提供できるよう、山口県看護協会が掲げる重点方針・重点事業の実現に向けて、全力で取り組みます。よろしくお願ひいたします。



常務理事
藤谷 圭子

常務理事として2期目になります。環境が大きく変化する中、看護職にますます大きな期待が寄せられています。皆さまが生きいきと活躍できるよう看護協会活動を推進してまいります。どうぞ宜しくお願ひいたします。



常務理事
小阪 マリ子

常務理事2期目を務めさせていただきました。
看護協会のさらなる発展と会員の皆様が専門職としての力を発揮できるよう微力ながら努めて参りたいと思います。どうぞ宜しくお願ひいたします。



看護師職能Ⅱ理事
露繁 巧江

この度より、看護師職能Ⅱの理事を務めます。医療介護の環境も目まぐるしく変化しますが、介護・福祉・在宅領域の看護へのニーズをキャッチし、応えることができるよう活動していきます。よろしくお願ひいたします。



保健師職能理事
安池 まさみ

この度、保健師職能理事をお引き受けすることとなりました。保健師職能として、看護職間はもとより多職種と連携をとりながら、看護協会活動に貢献ていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。



全区理事
鈴川 実紀

全区理事2期目を務めさせていただきました。微力ながら、看護協会活動に貢献できればと思っています。
どうぞよろしくお願ひいたします。



監事
原田 美佐

この度、監事をお引き受けすることになりました。はじめての役割で緊張していますが、地域で暮らす方々の安心・安全や幸せに繋がるように、本協会での事業推進に尽力して参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

令和5年度 支部長紹介

支部長は総会において選任された地区理事が務めます。支部長は支部活動の運営のほか、県と支部、会員をつなぐ橋渡し役を担います。

岩国支部

支部長 浜 佳恵

(岩国市医療センター医師会病院)



今年度より岩国支部長を務めさせていただくことになりました。初めての役割となります。山口県看護協会の重点方針に沿いながら、支部役員・会員の皆様と共に支部活動に取り組みたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

周南支部

支部長 山本 美紀

(徳山医師会病院)



支部長として2年目を迎えました。

地域における看護職の連携を強化し、コロナ禍でも、地域の皆様が安心して過ごせるよう可能な限り支部活動に取り組んで参りたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

山口支部

支部長 口羽 理恵

(山口リハビリテーション病院)



支部長として、2年目を迎えました。今年度より徐々に活動を開始したいと思います。新型コロナウイルス感染症と、共に生きる時代となりましたが、役員・委員をはじめ、会員の皆様と共に、支部活動に取り組んで参ります。ご協力、よろしくお願ひいたします。

小野田支部

支部長 土井 直子

(小野田赤十字病院)



支部長として2年目を迎えました。新型コロナウイルスの感染状況を把握しながら、役員、会員の皆さまと共に支部活動に取り組んで参ります。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

萩支部

支部長 田中 好江

(萩市福祉部萩市地域包括支援センター)



支部長として2年目を迎えました。様々な行事や活動がコロナ禍前と同様な状況で再開されつつあります。

今後とも会員の皆様とともに、支部活動に取り組んでいきたいと思っております。

どうぞよろしくお願ひ致します。

柳井支部

支部長 田山 千里

(周東総合病院)



今年度より支部長の任をお受けすることになりました。

役人・会員の皆様と共に地域住民が安心してその人らしい生活が営めるよう、支部活動に取り組みたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

防府支部

支部長 杉山 真弓

(防府リハビリテーション病院)



支部長として2年目になります。少しずつ活動の幅を広げ、地域の皆様の健康増進活動に取り組んでまいります。SNSを活用し、防府支部の活動や看護協会を幅広い世代に知って頂けるよう取り組んでまいります。どうぞよろしくお願ひ致します。

宇部支部

支部長 牟田 薫

(山口県立こころの医療センター)



支部長として2年目を迎えました。その時に必要とされること、できることを考えながら、会員の皆様と支部活動に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

長門支部

支部長 花島 まり

(長門総合病院)



今年度より支部長の任をお受けすることになりました。看護職の皆様と協力し、地域に密着した支部活動に取り組んでいこうと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

下関支部

支部長 小山 亜弥

(よしみず病院)



支部長として2年目を迎えました。これまでコロナ禍で制限されていた活動を徐々に再開し、支部の役割が果たせるよう、役員、会員の皆様とともに支部活動に取り組んでいきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。



岩国支部の活動紹介

在宅療養支援のための看護職連携推進研修会

令和4年11月17日(木)に在宅療養を支えている多職種50名が参加。ファシリテーターとして、いしいケアクリニック院長 原田唯成先生をお迎えし、「ときどき入院。ほぼ在宅」地域への取り組みに向けた多職種連携をテーマに病院側の困難事例をグループワーク形式で開催。在宅側のサポートや行政との関り、ACPへの啓発や取り組みまで、研修会の中で活発な意見交換が可能となり、今年度の課題「在宅側の事例」へ懸け橋となった。令和5年11月20日(木)には「ときどき入院。ほぼ在宅」地域への取り組みに向けた多職種連携Ⅱとして開催予定としています。

第3回 3支部合同マネジメント研究会(岩国・柳井・周南)

令和5年2月4日(土)柳井支部担当にて開催。参加者85名。10演題が発表され、自分の専門以外の研究を聞く事で、看護の力や視野が広がり、学びの深い研究会となりました。

令和5年度は岩国支部担当で、令和6年2月3日(土)開催予定としています。



まちの保健室 活動

従来の活動は新型コロナウイルスの影響で困難な為、令和4年12月18日(土)フレスタモールカジルにて日本赤十字社献血会場の側で、市民へ健康管理に関するリーフレットと山口県看護協会のノベルティを200セット作成し、極寒の中でしたが約2時間で配布しました。新型コロナも5類へ移行しましたので、今年度は徐々に活動拡大予定です。



柳井支部の活動紹介



支部活動

令和5年2月4日に、3年ぶりに3支部合同看護マネジメント研究会を行いました。柳井支部が引受けとなり規模は縮小したものの対面開催でき、各支部から85名(岩国30名、周南29名、柳井支部26名)の参加がありました。演題数は、各支部4題ずつの12題の予定でしたが、2題が当日発表できず紙面紹介となりましたが、それぞれ日々の業務に役立てる内容でした。

特別講演会

令和5年7月8日に、「アドバンス・ケア・プランニングを行う上での看護師の関わり」をテーマに周東総合病院の緩和ケア認定看護師 用傳恵美 先生にご講演いただきました。人生の最終段階の医療・ケアに関する話を患者さんとする場合に、患者さんから言われた「理解できるが納得できない」という言葉が印象的でした。参加者それが患者さんとどう向き合うかということを改めて考えるきっかけとなり、大変有意義な講演会となりました。

支部集会

会場の規模から収容人数が半数以下となるよう参加者数を制限しつつ、令和5年7月8日に令和5年度支部集会を開催しました。今年度も、コロナの感染状況を注視しながら活動を行っていきたいと思っています。





山口支部の活動紹介



支部集会

令和5年7月22日(土)ゆ一あいプラザ山口県社会福祉会館を会場として、支部集会を開催しました。渡邉洋子副会長をはじめ、知事表彰受賞者の坂田憲子様、山口県看護協会名誉会員の島田公子様、山口県協会長表彰の石崎和恵様の御出席をいただきました。新・旧役員、委員の皆様、令和6年度代議員・予備代議員の皆様も御出席いただき、出席者の合計は73名となりました。コロナ禍以前に近い開催となりました。



公益事業講演会

支部集会の後「ストレスの多い看護職のストレス対処法」をテーマに、山口県公認心理師協会、公認心理師・臨床心理士の松浦崇仁先生に、ご講演をいただきました。昨年度より、加藤君江教育委員長をはじめ、教育委員の皆様が企画・検討を重ねており、大変喜ばしい開催となりました。もちろん、大好評でした。



下関支部の活動紹介

教育委員会

令和5年3月8日に「高齢者のフィジカルアセスメント～呼吸器編～」をテーマに、下関市立豊田中央病院の慢性呼吸器疾患看護認定看護師 築地純子先生にご講演いただきました。実際に呼吸音を聴取したり、体位ドレナージの効果について学んだりすることができ、すぐに実践に役立つ内容は参加者に良い刺激となりました。



職能委員会

令和5年6月6日に「グリーフケア～死に直面した本人と家族・大切な人を亡くした家族に、あなたはどのように関わることができますか～」をテーマに、山口県済生会下関総合病院の緩和ケア認定看護師 柴田敏子先生にご講演いただきました。自宅や施設で看取ることが多くなってきているなか、看護職がどのように関わることができるのかを考える機会となりました。



まちの保健室

令和5年5月は豊北町の元気ファミリーフェスタ、6月はゆめシティでまちの保健室を行いました。豊浦支部との合併後、初の活動であったことや、新型コロナウィルス感染症が5類へ移行したことにより対面での活動ができるようになったことなどから、久しぶりの活動となりましたが、心地よい緊張感を感じながら活動することができました。



支部Information

支部名	月日(曜日)	時間	行事名等	場所	申込み先・問合せ先
周 南	10月14日(土)	10:00~11:30	在宅療養支援のための看護職連携推進研修会 テーマ「地域における医療・介護のつながりを深める」 ～顔のみえる関係づくり～ 多職種とのワークショップ	スタービアくだまつ 3階 会議室1・2	山本美紀 (徳山医師会病院) TEL:0834-33-2132
周 南	11月25日(土)	10:00~11:30	職能研修会 リフレッシュ研修 テーマ「アロマテラピーを生活にとりいれてみませんか!!」 アロマスプレー作り 講師:周南市北部地域包括支援センター介護支援専門員 アロマテラピーインストラクター 堀家 幸美 先生	徳山医師会病院 本館2階 研修室	山本美紀 (徳山医師会病院) TEL:0834-33-2132



コミュニケーションエラーを防ぐ方法に SBAR（エスバー）があります

SBAR（エスバー）とは

緊急の注意喚起や対応が必要な状況において、情報を確実・効果的に伝達するため、**状況・背景・考察・提案**に分けて明確に伝達する

状況 (Situatino)	患者に何が起こっているか
背景 (Background)	患者の臨床的な背景は何か
考察 (Assessment)	問題に対する自分の考えは何か
提案 (Recommendation)	問題に対する自分の提案は何か

この伝達で伝わってますか？

<事例> 看護師から当直医師への電話報告
看護師：骨折で入院した患者●◆さんです。苦しそうです。
医師：えっ？ どこの骨折？
看護師：ちょっと待ってください。えーと、
確かに転落で骨折したみたいで・・・
医師：バイタルは？
看護師：これから測ってきます。



SBARを使った場合

看護師：M病棟看護師の●●です。今よろしいでしょうか。
医師：はい、なんでしょう。
看護師：患者さん●◆△□さん、62歳女性です。
息切れを訴えSPO2：90%です。（状況）
医師：それで？
看護師：この患者さんは2日前に骨盤骨折の手術を受けて、昨日から左下肢の浮腫を認めています。（背景）
肺塞栓を起こしてないでしょうか。
診察お願いします。（考察・提案）
医師：わかりました。すぐ行きます。



参考：チームスッテプス日本版医療安全 チームで取り組むヒューマンエラー対策より

医療安全推進委員会

委員：米原・梅本・藤井・大西・西山・三澤

「医療安全推進委員会」は担当理事の助言を得ながら、6名の委員で年6回～7回活動しています。

主な活動は下記のとおりです。

1. 医療安全に関わる看護職のネットワーク活動の支援
2. 圏域代表者との意見交換
3. 医療安全管理者の情報交換、スキルアップ研修の企画・実施
4. 医療安全に関する周知・啓発活動



今年度より医療安全管理者養成研修は日本看護協会のインターネット配信

研修と都道府県看護協会と連携した全国各地での集合研修を組み合わせた「医療安全管理者養成研修」へ移行し、委託された演習を実施します。

また、看護協会会報きらめきには、医療安全情報として「ヒューマンエラーを防ぐ・指さし呼称による確認」「身代金ウイルスって何？」などトピックスとなる情報をわかりやすく掲載しています。ぜひ一読ください。

今後も医療安全推進委員会は、医療安全に関わる看護職が互いに相談・連携し自施設の質の改善に取り組む支援となる活動を続けていきたいと考えています。皆様のご理解とご協力をお願いします。

在宅ケア推進委員会

委員：世良・筒井・村上・安藤・原田・白石

在宅ケア推進委員会は、在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取り組みの検討、看護の実践能力の向上及び連携推進を目標として活動しています。

令和4年度は、3職能4委員会との情報交換を行い、在宅ケアにおける現状把握、課題の抽出にとりかかることができました。「看護師から関係機関への情報提供について、相互に知りたい情報が違い、うまく情報が活用されていない。」「コロナ禍で、患者の様子が家族に伝わりにくく、看護師も家族の介護力が分からぬままの退院となっている。」など退院支援に関する課題があがっています。効率よく活用しやすい情報提供書を作成するスキルが必要、病棟看護師も在宅生活のイメージできることが必要など新任から管理職までの人材育成や顔の見える関係づくりなどが課題解決のヒントとなりそうです。令和5年度は、看看連携として各支部が行っている在宅療養支援のための看護職連携推進研修の実態や課題を知り、今まであがった課題と合わせて整理



し、取り組みを検討する予定です。委員会メンバーの経験を活かし、高齢者のみならず母子、障害、難病、感染症、終末期など各分野に目を向けて検討したいと思います。

(委員長：世良 由華)

広報委員会活動

委員：栗林・中村・吉永・小川(佳)・小川(真)・山本

活動目標

- ・県内の様々な取り組みを情報発信する。
- ・看護協会の認知度を高める。
- ・協会や県内各施設の取り組みに対し、時宜を得た広報活動を行う。
- ・会員が興味ある内容を掲載できるよう情報収集し、工夫をはかる。



活動内容

- ・山口県看護協会会報誌「きらめき」を年3回発行する。
- ・ホームページの充実 ブログ更新。
- ・県内各施設の新たな取り組み等の情報収集。

会報きらめき投稿随時募集しています！

- ・職場のPRできます！表紙に職場を紹介してみませんか？
- ・頑張ってる活動を記事にしてみんなに知つてもらうチャンス！
- ・どんなユニフォームでお仕事してますか？ぜひ、紹介してくださいね。
- ・ペット自慢をご紹介ください！
- ・たつ年生まれの方、大募集！ 詳しくは、きらめき156号P16を見てね。
- ・かんごちゃんの活動記も見てくださいね。
- ・ホームページの広報委員のつぶやきもチェックしてくださいね。



山口県看護協会かんごちゃん

錦帯橋と桜の花で山口県をアピールします。

投稿はこちらへ | koho@y-kango.or.jp

助産師だより

助産師職能委員会では、助産師の活動を皆様に知っていただく目的で掲載しております

幸の鳥
Kohnotori

令和5年度の助産師職能集会は、助産師・保健師職能合同研修だけでなく交流会もあわせて開催しました。助産師27名、保健師55名の方が出席されました。

研修の中で、田村美穂先生（山口大学医学部附属病院 薬剤部薬剤主任）からは、「妊娠と薬」というテーマでご講演いただきました。妊娠・授乳期の薬物療法について、妊娠・授乳の不安にどのように応えるかという視点から、最新のエビデンスに基づいた内容をご教授いただきました。ガイドライン・文献・相談窓口など、日常の保健指導の場において活用できる内容でした。

交流会では、『今どきの妊婦あるある』『助産師・保健師それぞれに期待すること』のテーマで情報交換ができました。助産師には、妊娠期から子育て期の切れ目のない支援という役割があります。

- これを実現するには組織を越えた多職種の連携が必要です。

短い時間での交流でしたが、お互いの強みを知り、顔の見える関係を作る第一歩になったと考えます。今後もこのような交流が継続できるように準備して参ります。

助産師には、『男女問わず思春期』、『青年期の悩み相談』や『女性の一生を支え、伴走する』役割があります。出前授業や相談事業の参画など、助産師が活躍できる場がさらに広がり、その能力に期待が高まっています。交流会にご参加いただいた方だけでなく、山口県の看護職のみなさまが、さらに多様な場で活動できるように尽力していきたいと考えます。



様々な社会変化の中で活動に迷いを持つ保健師が増えている昨今、保健師職能委員会では、地道に保健活動を実践している保健師にスポットライトをあて、保健師から保健師へと技や心が伝えられ受け継がれるネットワークづくりに取り組んでいます。

その一環として、県内でひたむきに頑張っている保健師さんを紹介し応援します。

「地域の力を活かす(借りる)」 「お互いWinWin(相手のWinを意識する)」

山陽小野田市福祉部
次長 尾山 貴子

プロフィール

就職し保健センターに配属後、介護保険の準備で福祉分野へ異動。その後約20年福祉分野で勤務。
超久しぶりに健康増進部門へ異動後、コロナの渦中へ。そして、現在福祉部門で「なぜ、こんな仕事しているんだろう?」と嘆きながら議会対策等に奔走中。

保健師になるきっかけ

なんとなく福祉系に進みたいなと思っていたら、「福祉は自分に基盤がないとできない。手に職をつける(免許をとる)ならいいが、それ以外なら自分で働いてお金をためてから大学に行け」と父親に言われて。看護師免許をもっていた母の影響もあり看護師免許をとるために進学後、保健師という職種を知ったのがきっかけです。

就職後は介護保険の立ち上げ時に、初めての福祉部門の保健師として配置され、それから約20年福祉分野で仕事をしてきました。結果的になんか運命的な?!自分でも面白いなと思います!

保健師としての原点

平成5年に受講した「市町村保健婦グループ活動支援研修」がターニングポイントの一つです。これは組織化活動の技術を学ぶホテル軟禁研修で、最初2週間は座学とフィールドワーク、その後、地域に戻って実践し、その成果をまとめて最後1週間の研修に臨むというものでした。

地域には様々な体験をされた方がいて、同じ当事者だから分かり合える気持ちがあります。こうした地域の人々を組織化し、地域を変えるまでに力をつけていく手法を学びました。研修での訪問方法は、「一切指導はしない」、そして相手に見える形でメモをしながら時系列で思いの整理をしてあげるというもので、相手が自分で話しながら思いを整理し、自分で気付く力を引き出すというもの。そのやりとりを相手の了解をいただき録音。研修での訪問対象は介護者でしたが、テープおこしをすると、介護者が抱える共通の課題や自分の面談の稚拙さがみえてきて…。地域に戻って保健所や地域の関係者と共に『介護者の集い』に取り組み、長年かけて自主化。あらためて「保健師の力なんてたかがしれている。このような地



(真ん中の列の右から3番目が尾山さんです)

域の当事者の力を活かさねば!」と感じ、『地域の力を活かす』ことを強く意識した原点となる研修でした。

保健師として大切にしていること

「地域には様々な力がある。それを地域で活かす」「自分がすべきことは現場が教えてくれる」ということです。住民や関係職種が何を課題に感じ、何に困っているかがわかれれば、何をすべきかが自ずから見えてくると考えています。また、自分だけではなく、相手にもメリットがあるように「お互いwinwin」を意識しています。

もう一つは、スーパーバイジョンです。スーパーバイジョンは(支援者を支援する)助言や指導などの一つの方法です。その技術を習得できているわけではないですが、後輩だけでなく関係する専門職や地域の方へもその手法は使え、慣れてくると自問自答にも使える技術なので意識して使っています。

また、福祉現場で様々な高齢者の生活を見てきたからこそ、今更予防の大切さを実感しています。

後輩へのメッセージ

「行政に保健師がいる意味」を意識してみてください。私自身若い頃は目の前の業務に追われがちでしたが、行政保健師の醍醐味は、関係者等を巻き込みながら地域課題の把握・共有、そして改善に向けた地域づくりが出来ることだと感じています。その為に必要となる企画力や折衝力を若いうちから磨いておかれることをお勧めします。そして、多職種連携を進めるうえでは、相手の置かれている状況にもアンテナをはるということ!自分と相手(他職種)のメリットがWinWinでないと連携は続かないと感じています。

保健師の役割はますます期待される信じています!自分の健康にも十分留意しながら頑張ってくださいね!

インタビューを終えて

『地域(住民、関係機関)との関わりを大切に保健活動をされてきたことや地域への熱い想いがお話からとても伝わってきました。介護保険の立ち上げ等、難しい局面においても、地域や職場の皆さんと一緒に状況を切り開いて地域づくりを進めてこられたパワーを感じました。広い視野で地域をみて、地域の力を活かす!、自分たちの想いだけではなく、相手のWinを意識する!地域づくりの上で大切なことを学ばせていただきました!』

支部職能委員(山本)、県職能委員(倉田)



令和5年度 看護職員再就業支援相談会 (医療・福祉の合同面接会)のご案内

山口県ナースセンターでは、ハローワークと共に、看護職員再就業支援相談会／医療・福祉の合同就職面接会を開催しており、令和5年度は下記の5ヶ所で開催します。

「医療・福祉の合同面接会」会場には、看護職員再就業支援相談会として「ナースセンター相談コーナー」を設置します。看護職のみなさんの再就業に関する不安や悩み、雇用形態の希望などは人それぞれです。経験豊富な再就業コーディネーター等がお話をうかがい、再就業についてみなさまとともに考えます。この機会にお話ししてみませんか。お待ちしておりますので、ぜひ、お立ち寄りください。詳細や変更については、山口県看護協会のホームページに掲載しますので、事前にご確認ください。

合同開催	ハローワーク下関	ハローワーク山口	ハローワーク岩国	ハローワーク宇部	ハローワーク徳山
日 時	10月30日(月) 14:00~16:00	11月10日(金) 14:00~16:00	11月14日(火) 午前の部10:00~12:00 午後の部13:00~15:00	11月15日(水) 13:30~15:30	11月29日(水) 14:00~15:30
場 所	山口県国際総合センター (海峡メッセ下関)	パルトピアやまぐち (防長青年館)	ハローワーク岩国	ときわ湖水ホール	周南市文化会館
合同面接会参加R4年度施設数	23施設	6施設	4施設	17施設	6施設

※ハローワーク山口(パルトピアやまぐち)での「医療・福祉の合同説明会」は予約制なので面接を希望される方は事前にハローワーク山口(083-922-0043)にお問い合わせください。

看護職のみなさま

看護師等の届け出制度「とどけるん」をご存じですか? 離職された(される)場合は、ナースセンターに届け出をお願いします。

離職時届け出制度は、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」が改正され、平成27年10月1日から施行されている制度です。届け出は努力義務ですが、ナースセンターでは、離職された看護職の方々の届け出の情報をもとに、復職にむけての情報提供や、相談などを行っています。

● どのような場合に届けるの?

- ・病院等を退職した場合(次の就業が決まっている場合も、届け出をお願いします。)
- ・保健師・助産師・看護師・准看護師の資格を持ちながら、その仕事をしていない場合

● どうやって届けるの?

- ・離職時に、離職する施設が、本人に代行して届出を行います。(代行届出)
- ・離職者本人が、スマートフォンやパソコンから届出サイト「とどけるん」へアクセスし登録します。(本人届出)
- ・ナースセンターへ届出票を提出(紙面)していただければ、ナースセンターが代行入力します。

● 届けたらどうなるの?

届け出後、ナースセンターからご連絡させていただき、無料職業紹介(無料職業紹介サイト「eナースセンター」)のご利用をはじめ、情報の提供等ご案内、ご相談をさせていただきます。

求人・求職のご相談は、山口県ナースセンター(無料職業紹介所)をご利用ください。

TEL:0835-24-5791 FAX:0835-28-9688 E-mail:yamaguchi@nurse-center.net

eナースセンター
(無料職業紹介サイト)



とどけるん
(看護師等の届出サイト)



認定看護師（摂食嚥下）活動紹介

山口労災病院 柴田 嘉代子

私は2013年に摂食嚥下障害看護認定看護師として、2023年3月に特定看護師 特定行為に係る看護師研修修了者（以下特定看護師）を取得し活動をしています。嚥下ラウンドを週1回医師・歯科医師・言語聴覚士・管理栄養士とともに、脳血管疾患など摂食嚥下障害のある患者さんが安全で安楽においしく食事をもらうため個々に応じた食事形態・摂取方法・姿勢・口腔ケア方法を判断し、誤嚥性肺炎、窒息、低栄養、脱水などの予防や改善を行っています。また、栄養サポートチームでカンファレンスや院内回診など栄養療法を提案しています。

当院には、私を含め6分野9名の認定看護師と9名の特定看護師が在籍し今年度からリソースナース会として活動をしています。この度新人研修を企画する中で、認定看護師協働の研修は、異なる知識・能力・技術をもつお互いの強みを発揮して新たな価値を創造でき安全・安楽な看護ケアに繋がると考えチームコラボレーションに取り組みました。テーマは「高齢者患者の看護」で認知症看護、皮膚排泄ケア、摂食嚥下障害看護認定看護師が協働して研修を企画しました。リクライニング位や車いすの食事介助、水のみテスト、褥瘡リスクアセスメントや褥瘡予防対策、認知症患者のコミュニケーション方法や療養環境の調整など演習を行いました。はじめは、受け身な研修生たちでしたが、次第に自分で考えた意見や質問を投げかけてきたり、もう一度看護師役をやってみたいなどの積極的な姿勢もみられるようになりました。患者役からは、いきなりケアすると驚いてしまうので「〇〇さん、お水を飲みましょう。」「〇〇さん、体の向きをかえましょう。」とケア前に声かけを行い働きかけることが大切と思った。などの意見がありました。研修後のレポートでは高齢者患者のかかわり方について意識が変化したことの意見がありました。OJTとの連携では食事場面において動ける患者さんはベッドから車椅子に移乗してセッティングしたり、頸部前屈位になるようにポジショニングを整えるなど実践に活かせていることを確認でき、有意義な研修に繋がったのではないかと感じました。

今後も、認定看護師や特定看護師が活発に意見を出し合いながら、情報共有しアセスメントができる看護師の育成やロールモデルになり看護の質向上に取り組んでいきたいと思います。そして、一人でも多くの患者さんが少しでも永く安全に食べ続けられることを支援していきたいと思います。

【水のみテスト】



【ポジショニング・グループワーク】



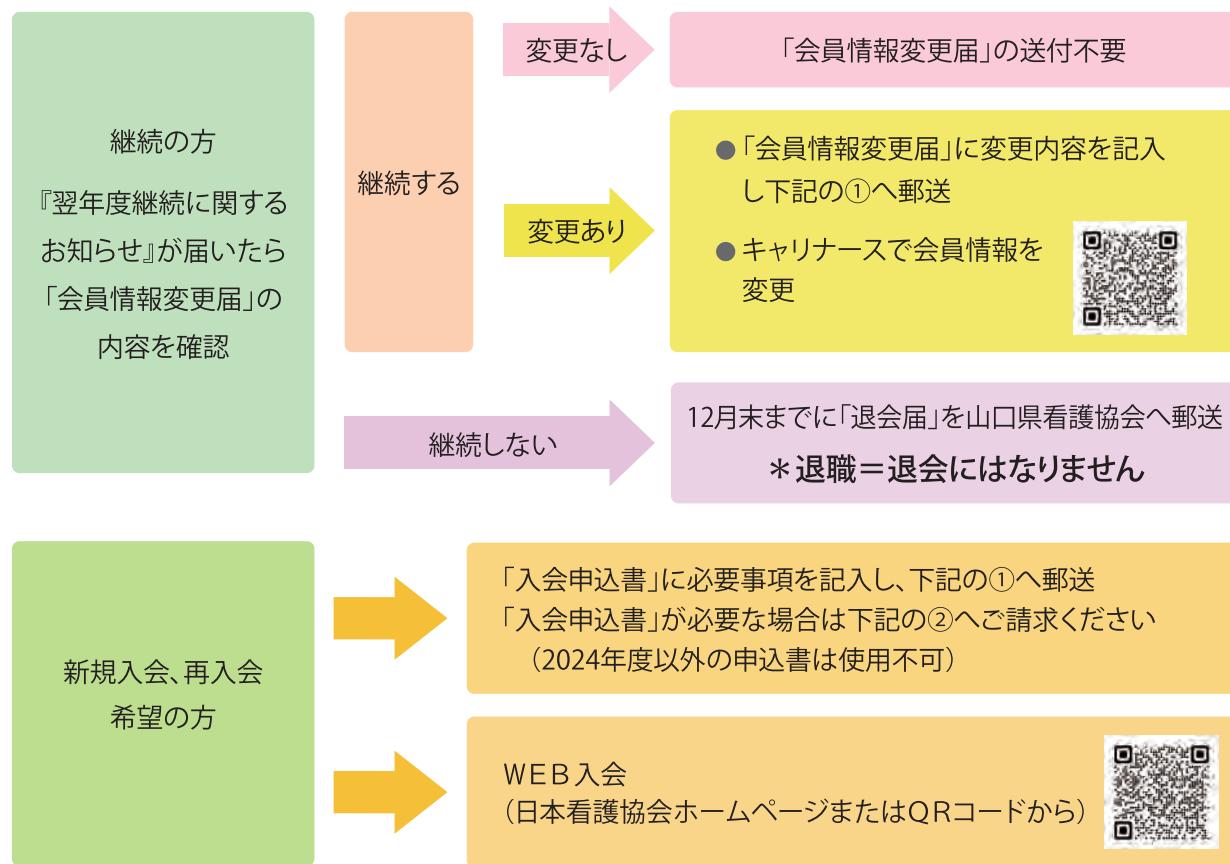
2024年度入会手続きがはじまります

(会員有効期間：2024年4月1日～2025年3月31日)

『翌年度継続手続きに関するお知らせ』は9月13日までに2023年度の会費を納入された方に日本看護協会から10月下旬以降に順次発送予定です。

9月以降に2023年度の入会をされた方は、手続き完了（会費納入）後に『翌年度継続手続きに関するお知らせ』を順次発送いたします。

2024年2月までに『翌年度継続手続きに関するお知らせ』がお手元に届かない場合は、山口県看護協会へご連絡ください。



①「入会申込書」「会員情報変更届」送付先

〒206-8790 日本郵便株式会社 多摩郵便局 私書箱第21号
公益社団法人日本看護協会・都道府県看護協会 会員登録事務局 宛

②お問合せ先・「2024年度入会申込書」請求先

〒747-0062 防府市大字上右田2686番地
公益社団法人 山口県看護協会 総務課 宛
TEL : 0835-24-5790 e-mail : yamakan1@chive.ocn.ne.jp
開館日：火～土 8:30～17:00

New1

山口県看護協会

研修申込、支払い方法が変わります！！

会員の皆様にとって、より研修が受講しやすくなればと、
研修システム「マナブル」を導入します！

8月9日14時～ 山口県看護協会にて
「マナブル説明会」を開催しました。

ご多用の中、県内施設の皆様に
ご出席頂きました。
皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。
これからも県内看護職の皆様にとって
研修受講がしやすくなるよう努めてまいります。



参加施設の
皆様には、
登録用ログインIDを
お渡しました

研修検索申込・支払・受講・
アンケート回答の方法が変わります。

manaable



研修受講には必ずマナブルの

・登録が必要になります。

※詳しくはホームページをご覧ください。

マナブル導入によって、
何が変わるの??

- ・研修申込やアンケート等がWEB上でできます。
- ・受付完了の連絡が受け取れます。
- ・受講料の事前振込(コンビニ、カードも可)で、当日支払う必要はありません。
- ・お知らせも受講者本人に直接届きます。
- ・オンデマンドやオンライン等に対応しやすく、受講の選択肢が広がります。

New2



山口県看護協会 LINEを始めました!

協会からの「お知らせ」「研修情報」等、
いち早くお知らせできるよう8月よりLINEを始めました。
まずは皆様、友だち登録お願いします！



登録はこちらから

Pet pride

ペット自慢



我が家のアイドル、ミニチュアダックスフンドのいちごくんです。14歳のおじいちゃんで癒し担当の重役です。家族が帰ると出迎えてくれる…つもりなんですが、聞こえず気がつかないことがふえてきました(笑)これからも元気で長生きしてほしいです。



いちごくん

会員特典のご紹介

会員には、次の特典があります。ご不明な点は、事務局総務課にお尋ねください。

看護職賠償責任保険制度

※詳細は、Webをご参照ください。



団体保険制度【団体割引30%適用】

※詳細は、Webをご参照ください。

- 長期収入サポート制度
(団体長期障害所得補償保険)
- 親子のちから
(親介護費用補償特約セット団体総合保険)



慶弔見舞金等及び災害見舞金

本会規程に基づき慶弔見舞金等、災害見舞金等を支給します。

※山口県看護協会Webの「福利厚生」ページに規程及び申請様式が掲載されています。

施設入園等の優待・割引

●やまぐちフラワーランド(柳井市新庄500番地1) 優待サービス

対象者：会員及び同行者 ※会員証提示必要

割引料金：未就学児 無料

小・中学生 250円 → 200円
高校生以上 510円 → 410円



●下関市立しものせき水族館「海響館」(下関市あるかぼーと6番1号) 観覧料割引

対象者：会員及び同行者 (会員を含む1グループ5名まで)

※会員証提示必要

割引料金：幼児(3歳以上) 410円 → 310円
小人(小・中学生) 940円 → 730円
大人(高校生以上) 2,090円 → 1,780円



■開館日・閉館日

●山口県看護協会 事務局

開館日：火曜日から土曜日 / 8:30～17:00 (図書室 / 9:00～16:30)

閉館日：日曜日・月曜日・祝祭日

(但し、月曜日が祝祭日に重なった場合は翌日も閉館日になります)

●山口県ナースセンター

開館日：月曜日から金曜日 / 8:30～17:00

閉館日：土曜日・日曜日・祝祭日

●相談支援センター

木曜日：9:00～16:00

編集後記



この度、新委員とかんごちゃんを新たなメンバーに迎え、広報委員会の活動を行います。会報
きらめきには旬な情報や役立つ内容を掲載しています。みなさま、お楽しみにしてください。
ユニフォーム紹介やペット自慢など、みなさまのご参加をお待ちするとともに、新しい情報やア
イデアも隨時、募集しています。ご協力お願いします。

(広報委員)